



事前検討をする青少年育成部会

六月一日発行の『三春わが街』号外でお知らせしたとおり、六月十八日三春まちづくり協会主催の『こどもたちの安全を考える懇談会』が開催されました。これは、平成十七年度協会全体事業の一つですが、こどもの健全な育成と安心して暮らせるまちづくりを目標とする青少年育成部会の担当課題として部会が中心となつて取り組みました。

☆いま、こどもたちが危ない！

全国で小・中学生の登下校時における不審者や異常者による傷害事件、声かけ事案あるいは交通事故等の不安全な事例が多く発生しています。三春町でも不審者による声かけ事案が数件発生していることが報告されています。また、通行危険箇所や防犯灯、積雪時の除雪等通学路にかかる不安要素に対する改善検討の要望も出されています。

三春町の将来を担うこどもたちは地域社会にとっての宝です。このこどもたちの生活や就学の安全を守るのは家庭や学校だけでなく地域全体の役目です。

三春まちづくり協会では、昨年度から課題解決型の取り組として、地域に密着した課題について担当部会が中心となつて勉強会や懇談会を開催し、現状の把握から課題解消に向けた活動を展開しています。

今回は、「こどもたちの安全を地域でどう守れるか」をテーマに青少年育成部会を中心、まちづくり協会の活動をとおして、地域社会にできる限りのことを採りだし実行することにより、こどもたちが安心して暮らせるためにはどのようにすべきか、まちづくり協会はどの程度の役割を果たすことができるのかなどを検討するため『こどもたちの安全を考える懇談会』を開催し関係各組織、団体との意見交換を行い具体的な対策の検討を進めることにしました。

協会側から「全國で起きた事件や事故は、三春でも起こりかねない社会情況にある。こどもたちの安全を地域としてどう守るのか真剣に考え、積極的な意見交換の場としてほしい」と主催者挨拶がありました。

また、鈴木町長からは「三春まちづくり協会主催の『こどもたちの安全を考える懇談会』が開催されました。懇談会には、まちづくり協会各部会員、各字区長、町長から町長はじめ教育長、学校、PTA等の各団体、消防団、PTA等の各団体、字委員会等がそれぞれの立場で対策を実施したり、検

☆三春まちづくり協会の取り組み

しかし、こどもたちの安全を守る取り組みは日常的に、かつ継続して実施されなければ真の効果は期待できません。それには個別の取り組みではなく、地域全体の取り組みとして進める必要があります。

地域全体の取り組みをするためににはどのようにすべきか、まちづくり協会はどの程度の役割を果たすことができるのかなどを検討するため『こどもたちの安全を考える懇談会』を開催し関係各組織、団体との意見交換を行い具体的な対策の検討を進めることにしました。

懇談会の総括や今後の具體的な取り組みについては④今後の地域の取り組みについて意見・要望等について説明や提案を受けて話し合いがされました。

懇談会の内容については九月一日発行『三春わが街』に特集してお知らせする予定です。

五月二十二日、昨年に引き続き、三春の散策路の探しを行いました。今回のコースは桜谷散策路→福聚寺→愛宕神社・龍穀院です。桜谷コースは、「竹林の小径」と名付けたいほど日

本情緒豊かな散策路です。ジグザグの急坂を登ること十分くらいで広場にできますが、ここからは北面の崖の馬酔木の低木を通じて福祉会館が見えます。かつては

「こどもたちの安全は地域で守ろう！」 —『こどもたちの安全を考える懇談会』に向けた青少年育成部会の取り組み—

する考えである」との挨拶がありました。

☆今後の地域の取り組みに向けて

懇談会は、小澤三春小P.T.A.会長（青少年育成部会）の司会で進められ、(1)教育委員会から町内各学校の安全管理に対する現状と課題(2)三春小・中学校から各字から地域の取り組みと課題(3)各字から地域の取り組みの実践例や今後の活動内容(4)今後の地域の取り組みに對する意見・要望等について説明や提案を受けて話し合いました。

そこで「明日の朝、早く起きてきたら、今日の分のチューとつだね」と言つてみたら、男の子はとん

にニッコリして、兄と一緒に学校へ行く道を歩き出しました。



こどもたちの安全を考える懇談会

地域部会だより

五月二十二日、昨年に引き続き、三春の散策路の探しを行いました。今回のコースは桜谷散策路→福聚寺→愛宕神社・龍穀院です。桜谷コースは、「竹林の小径」と名付けたいほど日本情緒豊かな散策路です。ジグザグの急坂を登ること十分くらいで広場にできますが、ここからは北面の崖の馬酔木の低木を通じて福祉会館が見えます。かつては

編集後記

竹垣で囲われていたのですが、今は見る影もなく朽ちており、新設できないものかと思いました。

この竹垣を三十分ほど歩くと福聚寺の墓地上の路に出ます。

続いて愛宕神社・龍穀院コースです。まず火伏の神（愛宕神社）へは一三四段の石段。清掃、植樹の手入が行き届いていることを感じながら一気に登り、大ケヤキ、イヌシデを眺めながら散策路を歩きます。

法藏寺・高乾院・光善寺・龍穀院とつらなる「三春の聖地」の尾根道は、写真でも分かる通り、良く手入れされていて、高等の散策路に仕上がっています。この径からお目当てのお寺に下りて行くための案内板が必要だと感じました。

さて、上等の散策路に仕上がっています。この徑からお目当てのお寺に下りて行くための案内板が必要だと感じました。

さて、子供たちを取り巻く環境は少子・高齢化、情報化、国際化、地域社会の変容などにより大きく変化しています。

現在、子供たちを取り巻きながらおもかげながらおもなうの問題です。そこで、児童少年の問題として、虐待、ひきこもりなどいろいろな問題もたくさんおきています。題心が暗くなるような社会の中でも、このようなほほえましい出来事に出会えて嬉しくなりました。

結果として、虐待、ひきこもりなどいろいろな問題もたくさんおきています。題心が暗くなるような社会の中で、このようなほほえましい出来事に出会えて嬉しくなりました。

そこで大人は心が穏やかになるのではないかと思えた朝でした。

(降矢)



きれいに手入れされた散策路

コミュニティだより
『三春わが街』第三十七号
発行日 平成十七年七月一日
発行 三春まちづくり協会
編集部会
広報部会
三春町字大町一七八
(六二)三九八八